



**富田 泰輔 (TOMITA Taisuke)**

東京大学大学院薬学系研究科 教授

東京大学薬学部卒業、  
同大学院薬学系研究科修士課程修了、  
大学院薬学系研究科博士課程中退。  
博士 (薬学)。

---

1995 年東京大学卒業、1997 年東京大学大学院薬学系研究科助手、2003 年同研究科講師、2006 年 6 月同研究科准教授、2014 年 4 月より現職。その間、日本学術振興会海外特別研究員としてワシントン大学セントルイス校 (Washington University in St. Louis) 医学部に留学 (2004-2005 年)。

専門は、病態生化学。アルツハイマー病を始めとする様々な疾患の発症メカニズムの分子基盤を解明し、治療薬開発につなげていくと同時に、新しい生物学的理解を深めていくことを目標として研究を進める。

主な研究成果として、家族性アルツハイマー病原因遺伝子 **Presenilin** の分子病態解明 (1997 年)、アミロイドβ産生酵素γセクレターゼの同定 (2003 年) と構造解析 (2006 年、2014 年、2015 年)、γセクレターゼモジュレーター薬の分子機構解明 (2011 年、2014 年)、自閉症関連分子 **Neuroigin** の代謝と機能制御解明 (2013 年)、遺伝学的アルツハイマー病予防因子 **CALM** の機能解明 (2014 年) など。

日本認知症学会 学会奨励賞 (基礎研究部門) 受賞 (2010 年)、ベルツ賞 2 等賞受賞 (2011 年)、日本認知症学会 学会賞受賞 (2013 年)